



諫早図書館 20th Anniversary

みなさまと これからも

★7月1日で諫早図書館は開館20周年を迎えました★

耳で楽しもう! 市川森一の言葉の世界

市川森一の手掛けた作品を視聴できる放送文化ライブラリーサテライトに新たに ラジオドラマ 2作品 が追加されました

『乳房』 声の出演：西田敏行、坂口芳貞他 80分

長崎県の隠れキリシタンの島に民俗学を研究するエリート教授がやってきた。島の門外不出の御神体を写真に撮ろうとする教授と、御神体を代々守り伝えてきた家族との息詰まる駆け引きが繰り広げられる――。

魂の救済、そして日本人の心の拠り所はどこかを問いかけるドラマ。

『ドラマ古事記(神代篇)』 声の出演：石坂浩二、戸田恵子、江守徹他 120分

日本最古の歴史書「古事記」は語りの書でもある。稗田阿礼(ひえだのあれ)の語る神代の世界を太安万侶(おおのやすまろ)が書き記す。しかし時の権力者 藤原不比等(ふじわらのふひと)の思惑から次第に離れていき、対立が深まる。第一部の神代篇は、そんな古事記撰録の奈良時代も交え、イザナギ、イザナミ、アマテラス、スサノオ、オオクニヌシなど神々のエピソードと日本誕生の物語を、神話エンターテインメントとして描く。

2021年6月の利用状況

	諫早図書館	どんぐり号
貸出者数(1日平均)	8,361人(334人)	1,563人(130人)
貸出点数(//)	34,153点(1,366点)	5,856点(488点)
来館者概数(//)	17,350人(694人)	—————



20th 企画

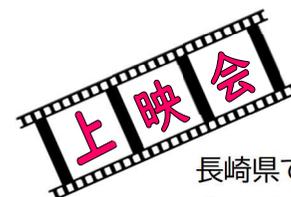
~本で振り返る20年~
あの年のベストセラー 2005~2008年

開館からの20年を、本を通して振り返る展示企画《あの年のベストセラー》第二弾は2005年から2008年です。気になる第一位は…?

- 2005年 『頭がいい人、悪い人の話し方』 樋口裕一/著 PHP研究所
 - 2006年 『国家の品格』 藤原正彦/著 新潮社
 - 2007年 『女性の品格-装いから生き方まで』 坂東真理子/著 PHP研究所
 - 2008年 『ハリー・ポッターと死の秘宝』 ⑤ ⑥ J.K.ローリング/作 松岡佑子/訳 静山社
- 『ベストセラー全史【現代篇】』(筑摩書房)より



他にどんな本が読まれたのか気になる方は見にいらしてください!



こはく

長崎県でガラス細工工場を経営する弟と、無職で虚言癖のある兄の二人が生き別れになった父を捜し、家族と愛を模索する様を描く。横尾初喜監督の幼い頃の実体験を基に、監督の故郷である長崎県ですべて撮影された作品です。井浦新・大橋彰ほか出演。

【2018年 / 日本 / 104分】

- ▼ 日時 令和3年7月21日(水) 14時~
- ▼ 場所 諫早図書館 2階 視聴覚ホール
- ▼ 定員 30名 ※先着順(事前申込不要)

新型コロナウイルス感染防止のため、中止となる可能性があります
入場前の検温・マスクの着用・手指の消毒にご協力ください
窓や出入り口を開放するため、音や光が入ることがあります



《発行》 諫早市立諫早図書館
諫早市東小路町6-30
TEL 0957-23-4946

図書館全館の最新情報をチェック →→→



公式ホームページ



公式 Twitter

今月の館内展示

※展示期間 7月14日(水)まで



【一般書】 アウトドア



【地域】 諫早図書館の歴史

【一般書】 『アウトドア』

アウトドアは好きですか？キャンプ、ハイキング、サイクリングなどアウトドアに関する様々な本を展示しています。ぜひご覧ください。

【地域資料】 『諫早図書館の歴史』

現在の諫早図書館となって20周年を迎えますが、諫早図書館の起源は、明治37年(1904)に設立された「諫早文庫」になります。20周年の機会に諫早図書館の歴史に触れていただくため、大正時代の図書館関係文書や昭和30年代の日誌等貴重な資料を展示し、一部を複製したもので紹介しています。ぜひご覧ください。

【ビジネス】 『雑誌スポンサーになりませんか』

諫早市立図書館では雑誌スポンサー制度を導入しています。ビジネスコーナーではスポンサーの事業所を月替りでご紹介します。今月は『日経ウーマン』を提供していただいている「株式会社クロダ」にちなみ、『家具を楽しむ。』と題し、家具に関する本などを展示しています。

【視聴覚資料】 『詩と朗読の世界』

6月19日は朗読の日です。心に響く詩や朗読の世界にふれてみませんか？この機会にぜひご利用ください。

《図書館員のオススメ!》

『花歌舞伎徒然草(よもやまばなし)』

夢枕 獏/著 萩尾 望都/絵 河出書房新社

歌舞伎の本なのに、裏表紙が少女漫画?! 著者の歌舞伎にまつわるよもやま話に、漫画家萩尾望都が挿絵をつけるという豪華コラボの本書。著者と歌舞伎の出会いから、話は宝塚や落語、陰陽師、少女漫画まで広がります。巻末の対談では名作「ポーの一族」の話も。(O)



【新しく入った資料】

一般書

- 『大宅壮一文庫解体新書—雑誌図書館の全貌とその研究活用』 勉誠出版
- 『悪魔の証明—なかったことを「なかった」と説明できるか』 谷岡 一郎/著 筑摩書房
- 『事実婚と夫婦別姓の社会学』 阪井 裕一郎/著 白澤社
- 『方向音痴って、なおるんですか?』 吉玉 サキ/著 交通新聞社
- 『いつでも君のそばにいる』 リト@葉っぱ切り絵/著 講談社
- 『そのまま使えるオンラインの“場づくり”アイデア帳』 翔泳社
- 『ビッグデータ英会話—2億語のデータでわかった本当に使える英語』 高橋 基治/著 阿部 一/著 西東社
- 『行動心理捜査官・楯岡絵麻 vs ミステリー作家・佐藤青南』 佐藤 青南/著 宝島社

地域資料

- 『かたりべ』 大浦 ふみ子/著 光陽出版社
- 『水の聖歌隊』 笹川 諒/著 書肆侃侃房
- 『光の彼方へ—天正遣欧使節 千々石ミゲル編』 奈華 よし子/著

DVD・CD

- 『イゾラド vol.1』 『イゾラド vol.2』 (DVD)
- 『日本百鳴鳥 202』 (DVD)
- 『マイ・ブックショップ』 イザベル・コイシェ/監督,脚本 (DVD)
- 『笑顔で会える日のために』 辻井 伸行/ピアノ (CD)

【休館日カレンダー】

《7月》

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

《8月》 8月の土・日は19時まで延長開館

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*